

医療介護コミュニケーション—感染症と対策

注意すべき感染症の流行状況、具体的な対策等について、おもに在宅、施設介護に従事されている職員の皆様向けに、情報提供しています。

Check!

ワクチン接種に関する・・・い・ろ・は

見た目がどんなに元気な高齢者も、若い方とは異なり、細菌、ウイルス感染症に罹ると、若い方が軽症で済むような感染症でも容易に重症化し生命の危険にさらされます。重症化を予防するワクチンは、高齢者を感染症から守る上で効果的な感染対策（発病予防・重症化予防）の一つです。しかしながら、良いことばかりではありません。重篤な副反応の発症が心配で、ワクチン接種を躊躇されるかたもおられるでしょう。今回の医療介護コミュニケーションでは、**「ワクチン接種をしたほうがいいのか、しない方がいいのか」**、こんなワクチンの話題を取り上げました。

ワクチンに対する理解が深まる機会になることを期待しています。

ワクチン接種すると感染しないと思っている人いませんか？

- ワクチン接種しても、思っているほど感染予防効果は高くありません。

ワクチン接種すると感染しないと思っている人は、残念ですが間違いです。日本で接種できるCOVID-19対応ワクチンの感染予防効果が40%前後の報告があります。ワクチン接種した人の2人に1人は感染していることになります。**ワクチン接種後に感染することは「ふつうにあること」と思ってください。**

- ワクチン接種すると、発病予防と重症化予防効果が期待できます。

「何だ、ワクチン接種しても感染するなら意味が無い」と思っていないですか？

感染しても入院しないで済む、生死をさまようような重症感染症にならないなら、免疫機能が低下している高齢者や基礎疾患がある方がワクチン接種する意義は十分あります。COVID-19の重症化を予防してくれる効果は日本人では概ね40～60%前後、欧米人では概ね60～70%前後と言われています。また、接種から半年経つと、発病予防効果は20%前後に低下すると言われています。（厚生労働省公開データ）

インフルエンザ流行状況と咳エチケットの遵守

福岡県、長崎県インフルエンザ定点報告数

2025	第45週	第46週	第47週	第48週	第49週
	11/3-11/9	11/10-11/16	11/17-11/23	11/24-11/30	12/1-12/7
福岡県	12.8	20.89	32.70	48.87	65.56
東京都	29.03	44.75	51.69	35.76	25.17
大阪府	19.74	31.57	38.01	31.45	27.08
北海道	28.20	44.01	61.78	44.62	29.0z
沖縄県	23.44	21.71	22.89	22.82	18.07

- インフルエンザが数年ぶりに大流行しています。流行の主流はA型 亜型H₃N₂ サブクレードK (subclade k) です。症状や重症度は従来型と変わらないが感染拡大のスピードが早いと言われています。また、ワクチン接種後の発病防止効果は少し下がるが、重症化予防効果は変わらないと言われています。(厚生労働省)
- 全国第49週の定点当たりの報告件数が多い都道府県は、1位福岡県(65.56)、2位宮崎県(62.54)で、九州地域で流行しています。
基本的な飛沫感染防止対策、〈咳エチケット〉の徹底をお願いします。

咳エチケットの強制力は、場所で異なる

● 人が集まる学校や施設、職場等

- ・ 咳がでている人は、マスクを着ける
- ・ マスク着用の判断は、**個人の責任(自覚)**

● 易感染者が集まる病院・高齢者施設等

- ・ 咳がでている患者は、マスクを着ける
 - ・ マスク着用の判断は、**施設の責任(権限)**
- ※ マスク着用を積極的に指導できる

咳エチケットは〈感染しないため〉の対策ではなく〈感染させない〉ための対策です。

☆マスクあり

正しいマスク
→密着させる



☆マスクなし

ハンカチ、
ティッシュ
で口を覆う

服の袖で
口を覆う

イラスト 厚生労働省